

令和8年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立新高小学校

令和8年4月

## 現状と課題

1

○本校は、Safety Promotion School（以下「SPS」略）認証校として、防災・減災教育などの安全教育を重視した取り組みを行い、成果を上げてきた。今後も家庭・地域・関係諸機関との連携を継続して取り組みを進める。

○不登校児童への取り組みを進めてきたことで、改善傾向がみられた児童もいた。しかし、まだ登校しづらい児童や休みがちな児童、不登校の児童が数名いて、それぞれに課題を抱えている。児童の実態に応じた登校支援や学習機会の確保を行うために、改めて児童一人一人の課題に応じた対策を進めなければならない。

○全国学力学習状況調査や学力経年調査等では、平均正答率の対全国比が1.00を超えた学年が多く、学力の向上が見られた。しかし、国語・算数の学力で、課題の見られる児童の割合が増加していることから、個別最適な学びの充実をめざした教員の指導力向上が求められる。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体育合計点が大阪市平均や全国平均を上回った。引き続き体育的行事や運動週間等取り組みを行い、運動への興味や関心を持たせる工夫を行う。

○ICT 機器を使用した学習環境を整備し、日々の学習に活用できるようになった。今後はさらに、一人一人の学習課題に応じた学びを推進するために、宿題や家庭学習の工夫や端末の持ち帰り学習を進める必要がある。また、情報モラル教育を充実させることで、ICT 機器やインターネットの正しい使い方を理解し、トラブルを未然に防ぐ工夫が必要である。

○教職員の時間外勤務時間は減少傾向にあるが、業務を持ち帰る教員も少なくない。また、学年や役割による時間外勤務時間の偏りがあることから、さらに業務の見直しや校務の平準化を進めなければならない。

○令和7年度の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目において、目標の数値に至らなかったことから、引き続き家庭や地域との連携を深め、児童の健全な育成や教育活動の充実につなげていく。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

○令和11年度の学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%にする。

○令和11年度の学力経年調査における「自分には良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和11年度の学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」への肯定的に回答する児童の割合を85%にする。

○令和11年度の学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

○令和11年度の学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上にする。

○令和11年度における教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を20時間以下にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

○令和8年度の学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%にする。（令和7年度 83.5%）

○令和8年度の学力経年調査における「自分には良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%にする。（令和7年度 80.4%）

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和8年度の学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」への肯定的に回答する児童の割合を79%にする。（令和7年度 77%）

○令和8年度の学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。（新規項目）

### 【学びを支える教育環境の充実】

○令和8年度の学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。（新規項目）

○令和8年度における教員の時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。（新規項目）

### 【その他】

○令和8年度末の児童アンケート（3年以上）の「避難経路図を確認し、その場に先生がいなくても、自分たちで考えて避難することができる。」の項目について、肯定的に答える児童の割合を84%以上にする。（令和7年度 83.5%）

○令和8年度の児童アンケートにおける「図画工作の学習は好きですか」に対する児童の肯定的な回答を80%以上にする。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立新高小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○令和8年度の学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%にする。（令和7年度 83.5%）</p> <p>○令和8年度末の児童アンケート（3年以上）の「避難経路図を確認し、その場に先生がいなくても、自分たちで考えて避難することができる。」の項目について、肯定的に答える児童の割合を84%以上にする。（令和7年度 83.5%）</p> <p>○令和8年度の学力経年調査における「自分には良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%にする。（令和7年度 80.4%）</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① <b>【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>「大阪市いじめ対策基本方針」に基づき、いじめへの適切な対応を行う。</p> <p>「学校安心ルール」の活用による規範意識の醸成を進める。</p> <p>不登校児童や休みがちな児童の実態に応じた対策を行い、安心して登校できる体制づくりと学習機会の確保を行う。</p> <p>（いじめへの対応・不登校への対応・問題行動への対応）</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回の生活指導部会を行い、子どもの実態や課題を教職員全体で共有する。</li> <li>・いじめアンケートを学期に1回実施し、早期発見・早期対応を行う。</li> <li>・毎日の「心の天気」の入力を行う。</li> </ul>	
<p>取組内容② <b>【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>SPSの年間指導計画、「警備及び防災の計画」「安全対策マニュアル」に沿った防災・防犯・交通安全に関する授業や取り組みを行う。</p> <p>（防災・減災教育の推進・安全教育の推進）</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練（火災・台風・地震・津波等対策）を年に5回以上行う。</li> <li>・交通安全学習を年に1回以上行い、防災に関する授業を各学年1回以上実施する。</li> </ul>	
<p>取組内容③ <b>【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b></p> <p>あいさつ強調週間、異学年交流活動（委員会、クラブ、児童集会によるたてわり班活動など）や児童集会を通して、互いを認め合い自尊感情を育む。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ強調週間を学期に1回設定する。あいさつへの意識が高まるように、強調週間がある月曜日に講話を行ったり、強調週間後に児童会からの表彰の機会を作ったりする。（計3回）</li> <li>・児童集会、クラブ活動、委員会活動など異学年での活動を、年間を通して月2回以上実施する。</li> </ul>	

取組内容④【**基本的な方向2 豊かな心の育成**】  
出前授業や体験学習を通して、児童が主体的に活動できる取り組みを増やし、自己肯定感や自己有用感を高めさせる。  
(キャリア教育の推進)

- 指標
- ・全学年が年に1回以上の出前授業や体験学習を実施する。
  - ・令和8年度の学力経年調査において、「将来の夢や目標をもっていますか」への肯定的な回答を87%以上にする。(令和7年度85.7%)

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立新高小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○令和8年度の学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」への肯定的に回答する児童の割合を79%にする。（令和7年度 77%）</p> <p>○令和8年度の学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。（新規項目）</p> <p><b>【その他】</b></p> <p>○令和8年度の児童アンケートにおける「図画工作の学習は好きですか」に対する児童の肯定的な回答を80%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① <b>【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>授業研究や研修を通して教員全体の授業力・指導力の向上を進める。</p> <p>「個別最適な学び」と、話し合い活動や探究的な学びによる「協働的な学び」を充実させ、主体的に学習を進める力の育成をめざす。</p> <p>（「主体的・対話的で深い学び」の推進）</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・算数科を中心とした指導力向上のための公開授業を年に10回以上行う。</li> <li>・各学年、月に数回、年に20回程度の漢字テストを行う。</li> <li>・全学年で漢字ノートを活用し、熟語を練習したり、文を作ったりすることで、漢字の定着を図る。</li> <li>・算数科の習熟のためのプリント学習やナビマを活用した学習を行う。</li> <li>・算数科や図画工作科において、大阪市授業スタンダードをもとに、学校の授業スタンダードを作成し、全員が同じ指導方法で授業を行うための指針作りを実施する。</li> <li>・ICT機器を活用した個別最適な学びや、協働的な学びを進める。</li> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を行うための研修や実践共有を行う。</li> </ul>	

取組内容②【**基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上**】  
図画工作科の授業研究や指導力向上のための研修を実施し、児童が興味関心を持って学習に取り組むことができるようにする。

- 指標
- ・全学年で図画工作科の年間指導計画を作成し、学びのつながりを意識した系統的な指導を行う。
  - ・外部講師による指導力向上をめざした研修を年に3回以上行う。
  - ・校内授業研究会を年に3回行う。

取組内容③【**基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上**】  
児童が英語に触れる機会を充実させ、実際のコミュニケーションにおける実践的な英語力の育成を行う。  
(英語教育の強化)

- 指標
- ・英語の指導力向上をめざした研修を年に2回以上行う。
  - ・外国語指導巡回訪問における授業参観及び、その後の指導・助言を全学年で受け、指導力の向上と指導改善に生かす。
  - ・英語に親しませるための掲示物の工夫や児童会活動の工夫を行う。
  - ・イングリッシュタイム (NET) での短時間学習を全校で行い、英語学習の意欲を高めさせる。

取組内容④【**基本的な方向5 健やかな体の育成**】  
規則正しい生活習慣が身に付くよう、健康に関する指導や食育など、子どもの発達に応じた指導を全学年で行う。  
(健康教育・食育の推進)

- 指標
- ・年に1回以上健康週間を実施し、規則正しい生活習慣を意識づけさせる。
  - ・全学年で健康に関する指導と食育を実施する。
  - ・保健だよりや給食だよりをHPに掲載し、家庭への啓発を行う。

取組内容⑤【**基本的な方向5 健やかな体の育成**】  
子どもの体力・運動能力の向上に向けた体育学習指導の充実を図る。  
体育的活動を通して、運動やスポーツへの興味・関心を持たせる。  
(体力・運動能力向上のための取組の推進)

- 指標
- ・指導力向上をめざし、研修を年に2回以上実施する。
  - ・体育的活動を年に3回以上行い、運動に親しむ機会を設定する。
  - ・令和8年度の学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」への肯定的回答を89%以上にする。(令和7年度 88.3%)

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立新高小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○令和 8 年度の学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 70%以上にする。（新規項目）</p> <p>○令和 8 年度における教員の時間外勤務時間について、年 720 時間を超えて実施する教員をゼロにする。（新規項目）</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① <b>【基本的な方向 6 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</b></p> <p>「大阪市学習教育 ICT ビジョン」に基づき、ICT 教育を推進する。</p> <p>「心の天気」の入力、学習者用端末を用いた朝の学習を行う。</p> <p>授業で効果的に活用するための研究や研修を行い、指導方法を教員間で共有する。</p> <p>学年に応じた情報モラル教育を行う。</p> <p>（ICT を活用した教育の推進）</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習者用端末を用いた朝の学習を週に 1 回以上行う。</li> <li>・「心の天気」のマークの基準を学校全体で統一させ、児童の心の状態を可視化させる仕組みをつくる。</li> <li>・週に 3 回以上、学習者用端末を用いた授業を行う。</li> <li>・「クラスルーム」での連絡帳掲示を行い、学習者用端末を毎日持ち帰らせるようにする。</li> <li>・情報モラル教育を全学年で実施する。</li> </ul>	
<p>取組内容② <b>【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p> <p>ワークライフバランスを意識した業務の効率化を進め、時間外勤務時間を減少させる。</p> <p>SSS や支援員等を含めた学年・担当で情報共有や連携、協力を深め、教職員の業務の平準化を行う。</p> <p>（働き方改革の推進）</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週に 1 回の「ゆとりの日」の設定を行う。</li> <li>・長期休業中の「閉庁日」を増やす。</li> <li>・1 日の時間外勤務時間を 1 時間半以内にし、教職員の心身の健康の維持を図る。</li> <li>・全教職員の月別時間外勤務時間を昨年度より 2%減少させる。</li> </ul> <p>（令和 7 年度 19 時間 40 分）</p>	

取組内容③【**基本的な方向8 生涯学習の支援**】  
教室や廊下などに読書スペースを作り、読書に親しませる環境づくりを行う。  
図書館司書や委員会が主体となって本の読み聞かせを増やすなど、学校全体で読書週間の取り組みを広げる。（「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組）

---

指標

- ・令和8年度の学力学習状況調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を68%にする。（令和7年度65.9%）

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

令和 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 (学校園名) 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校園の運営についての意見

--